

「民生委員を終えて」

箱根ヶ崎地区担当 吉岡 茂雄

12年前の12月29日の朝の電話で起こされました。「お隣の様子がおかしいので、民生委員さんに連絡しました。」とのことでした。初仕事が、高齢者の孤独死の件でした。何でこんな仕事を引き受けてしまったのだろうか？と結構悩む事もありました。

しかし、民生委員の新任研修やメンタルヘルス研修などを受講するたびに、気持ちが楽になるのを感じるようになり、気が付くと4期12年間も続けてしまいました。

最終期では、民生委員児童委員協議会の高齢福祉部会長となり、西多摩郡民生委員児童委員協議会では、各町村の部会長の方との交流も楽しいものでした。

また、西多摩郡民生委員児童委員の代表として、東京都民生児童委員連合会高齢福祉部会に8回出席し、他の区市の部会長の方との活発な意見交換なども思い出します。

12年間の民生委員活動は、とても良い経験をし自分自身も一歩成長したように思います。

今後、各部会長になられる方々にも、積極的に西多摩郡民生委員児童委員協議会や東京都民生児童委員連合会の活動に参加して、良い経験を積んでいただきたいと思います。